

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	伊丹市立伊丹特別支援学校 職・氏名 教諭 杉本 浩美	研究チーム名 (支援教育グループ)
-----------------	-------------------------------	------------------------

研究テーマ分類番号 (9)

(1) 研究テーマ	
配慮や支援の必要な子どもへの支援について ～事例を通して検討する～	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
4月26日(火)	今年度の計画について 内容：今年度の具体的な進め方や事例の検討の仕方、夏季休業中の活動について話し合った。
5月11日(水)	算数の文章題が苦手な子どもへの一斉指導の中における指導上の工夫について 内容：通常学級における算数の文章題が苦手な子どもに対する指導について、子どものつまずきの原因を考慮した指導や支援の工夫の仕方について、実践報告から学習を深めた。
6月16日(木)	行動面の支援が必要な子どもについて(事例検討) 講師：兵庫教育大学大学院准教授 内容：行動面に課題のある3つの事例について討議を行い、講師の先生から助言をいただいた。 事例1 特別支援学校に在籍する小学部4年生男児の事例 事例2 小学校通常学級に在籍する1年生男児の事例 事例3 小学校通常学級に在籍し通級による指導を受けている5年生男児の事例
8月9日(火)	市内の取組に関する学習会 講師 高等学校の特別支援教育コーディネーター及び養護教諭 内容 市内の定時制高校における特別支援教育の取組や校内体制について、具体的な実践事例を基に協議した。
9月8日(木)	行動面の支援が必要な子どもについて(事例検討) 講師 兵庫教育大学大学院准教授 内容 前年度に不登校傾向が見られた小学校4年生女児の事例について協議を行い、講師から学級での対応や仲間づくり、個に応じた支援などの助言をいただいた。
10月20日(木)	学習会 内容 指導上の課題等について討議を深めた。 例：「やりたくないからしない」という子どもにどう関わるか
11月14日(月)	行動面の支援が必要な子どもについて(事例検討) 講師 兵庫教育大学大学院准教授 内容 独自のとらえ方が強くそれが認められないと受け入れられない4歳児クラス女児の事例について討議を行い、保護者との関わり方や本人の長所を活かした支援の仕方などについて講師から助言をいただいた。